

経 営 状 況 報 告 書

令和2年7月

(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー

目 次

令和2年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

- I 令和2年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書 . . . 1
- II 令和2年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書 10

令和元年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

- I 令和元年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書 . . 17
- II 令和元年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書 28

※ この冊子は、再生紙を使用しています。

令和2年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

I 令和2年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書

令和2年4月 1日から

令和3年3月31日まで

1 事業運営方針

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、観光客及びコンベンションの誘致、サンポート高松のにぎわい創出を中心に活動を行い、高松市及び香川県の経済活性化はもとより、国際会議観光都市・高松のイメージアップ、国際的知名度及び情報発信機能の向上に取り組んでいる。

コンベンション部門では、高松市を含め80の都市で推進組織を設けている中、首都圏を中心に誘致活動を展開している。中でも地方都市コンベンション関連団体の5地区が連携して実施している共同誘致事業は、情報発信や情報収集など効率が良く、組織力を発揮している。また、単独での取組では、サンポートホール高松の大規模改修や新香川県立体育館の建設が今後予定されている中、継続的に国際会議、全国大会、学会等の主催者に対する誘致事業を強化し、香川県MICE誘致推進協議会と連携を図りながら、コンベンションを中心としたMICEの推進に取り組む。

観光部門では、昨年12月以降、新型コロナウイルス感染症等を起因とした外国人観光客の減少など、厳しい状況下にあるものの、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、世界最大規模の旅行予約サイト「Booking.com(ブッキングドットコム)」が発表した2020年に訪れるべき目的地TOP10に、日本で唯一「高松」が選ばれるなど、観光産業にとって観光客増加の絶好の機会であることから、県市や賛助会員と緊密に連携し団体旅行の誘致、国内外からの来訪者に対する受入環境の整備を図り、これまで以上に他地域との差別化を図ることで、観光客の誘客に取り組む。また、都市交流事業等各種観光振興事業を引き続き推進するとともに、サンポート高松を拠点としたにぎわい創出事業に、県市や関係者と連携して取り組んでいく。

このような方針のもと、引き続き、21世紀の基幹産業とも言われる観光・コンベンション事業を積極的に推進するため、次の事業を実施する。

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致、支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施する。

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議、全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する事業を実施する。

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等地域経済のあらゆる領域にわたりその発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものであることから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、観光客の誘致や受

入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与する事業を実施する。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く。以下、「高松市等」と言う。）の新たな観光資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発、並びに利用者による情報発信を促す。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

サンポート高松に、人、物、情報等を集めることによりにぎわいを創出し、国際交流及び情報化の推進、産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施する。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市及び香川県の滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に務めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながることで、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、（公社）香川県観光協会よりこれを受託し、管理運営する事業を実施する。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 具体的な事業計画内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

全国53か所の国際会議観光都市が認定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため積極的に誘致活動を展開する。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等主催事務局

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信のための訪問

訪問先：学術会議・大会本部・主要大学・旅行会社・企業等の主催事務局

訪問地：首都圏・中部・関西地区

(b) 有力主催者等へのトップセールス

開催決定が有力視される主催者への県・市・当財団理事クラスの訪問

b 四国及び岡山県内の大学

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信のための訪問

四国や岡山県内の大学の主催者に、高松市で開催を検討いただけるよう情報を発信し、開催件数の増加を図る。

訪問地：徳島・高知・愛媛・岡山の各大学

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

訪問先：県内大学・学術会議・大会・組織団体・協会等の支部事務局

(ウ) 共同誘致事業

a 地方都市コンベンション関連団体ワークショップ及び合同誘致事業

（新潟・松本・びわこ・和歌山・高松）

- b I M E（国際M I C Eエキスポ）への出展
- c V J T M－M I C Eマートへの出展
- d 5都市情報交換会（盛岡・金沢・静岡・高松・熊本）
- e 中国四国コンベンション誘致推進協議会
中国四国地区コンベンション団体誘致懇談会への出展
- f 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会
- g J N T O 台湾 インセンティブセミナー
- h J N T O シンガポール M I C Eセミナー
- i 香川県M I C E誘致推進協議会との連携

イ コンベンション誘致支援事業

高松市及び香川県でコンベンションの開催の意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談や、開催計画の提案や視察の受入れ、国際会議・企業コンベンション誘致支援事業等を行うことで、高松市及び香川県での開催を促す。

- （ア）主催者等招請事業及び視察受入れ
- （イ）開催企画書のテンプレート提供
- （ウ）国際会議・企業コンベンション誘致支援事業

ウ コンベンション開催支援事業

高松市及び香川県で開催予定のコンベンション主催者に対し、コンベンション・コンシェルジュとして、各施設の会場手配、開催までのノウハウの提供、コンベンション運営スタッフの紹介（無料職業紹介事業）等を行い、主催者の開催を補助するとともに、参加者に対して、各種観光パンフレットなどの情報提供並びに利便性の向上を図る。

- （ア）コンベンション・コンシェルジュとして主催者支援
 - a 会場予約・施設利用調整等
 - b 行政など関係機関との調整（後援、メッセージ等）
 - c ユニークベニュー、アフターコンベンション等の提案
- （イ）コンベンション運営スタッフ紹介事業（無料職業紹介事業）
- （ウ）観光パンフレットの提供等各種参加者支援
- （エ）大型コンベンション開催に伴う各施設との連携強化

エ 広報宣伝事業

インターネットを活用した情報発信や専門誌等に対する広告を行うことで、高松市及び香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介し、コンベンションの開催を促す。

- （ア）団体、賛助会員に対する啓発・周知
- （イ）専門誌等への広告
- （ウ）ホームページによる情報発信

オ コンベンション情報収集提供事業

誘致事業等により得られたデータを整理し、コンベンション開催予定表を作成し、広く一般に周知する。また、自らが、主催者及び参加者にアンケート調査を行い、コンベンションがもたらす経済波及効果を試算及び公表をする。加えて、これまで蓄積した主催者情報並びに大会情報データベースを活用し、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実施できるよう努める。

- （ア）開催情報のデータ整備
- （イ）統計書作成・経済波及効果・アンケート調査の実施

- (ウ) コンベンションカレンダーの作成と提供
- (エ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）ビューロー部会への参加
- (オ) 主催者情報・大会情報データベースの整備

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

ア 国際会議等

国際会議等とは、学術、文化、技術等の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術、文化、技術等の研究の発表又は討論のための国際的な会議、スポーツ大会又はこれらに準ずるものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・対象地域 高松市又は近隣町（三木町、直島町及び綾川町の3町をいう。以下、この号において同じ。）で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が50泊以上あるもの
- ・全参加者のうち外国人参加者（海外から参加する外国人）の占める割合が20%以上のもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×2,000円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・最高限度額 500万円

b エクスカーション助成金

- ・大会等の主催者が計画し、実施する視察旅行で、高松市内の観光施設等を2か所以上訪問するもの
- ・賃借した台（隻）数に3万円を乗じた額又は賃借料の2分の1の額のどちらか低い方
- ・1千円未満切捨て
- ・最高限度額 30万円

イ 国内大会・国内学会等

国内大会等とは、会議、集会、セミナー等をいう。また、国内学会とは学者により構成され、学術研究の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術研究の発表又は討論のための会議、集会、セミナー又はこれに準ずるものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・対象地域 高松市又は近隣町で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が100泊以上あるもの

- ・香川県を含む3県以上から参加があるもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・20万円。ただし、賛助会員の開催関係事業者のうち、3業種以上を利用したものに限る。

b 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×500円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・1千円未満切捨て
- ・全国規模 香川県を含む30都道府県以上からの参加若しくは県外参加者の延べ宿泊数が1,000泊以上あるもの
- ・その他規模 香川県を含む3県以上から参加があるもの
- ・最高限度額 全国規模180万円、その他規模80万円

c エクスカーション助成金

- ・ア（イ）bに同じ

ウ スポーツ大会

スポーツ大会とは、その大会が行う競技の振興及び発展を目的とする競技団体又はその下部組織が主催、共催、後援等を行う大会をいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・イ（ア）に同じ。ただし、対象地域は除く。
- ・対象地域 香川県内で開催されるもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・イ（イ）aに同じ

b 宿泊助成額

- ・イ（イ）bに同じ。ただし、最高限度額は除く。
- ・最高限度額 全国規模80万円、その他規模30万円

c エクスカーション助成金

- ・ア（イ）bに同じ

エ 合宿等

合宿等とは、各種競技団体、学校などが技術向上や交流等を目的に開催するスポーツや文化活動等営利を目的としないものをいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・対象地域 香川県内で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が１００泊以上あるもの
- ・主催者アンケート（１枚）、参加者アンケート（１０枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×３００円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・１千円未満切捨て
- ・最高限度額 ５０万円

オ ア～エの補助要件等に関わらず、次のいずれかに該当するものについては、補助金を交付しない。

- ・国若しくは地方公共団体が主催又は共催（名義共催は除く。）するもの
- ・高松市から補助金が交付されるもの
- ・宗教及び政治的活動を目的とするもの
- ・不特定多数の参加者から入場料を徴収するもの
- ・その他、理事長が不適当と認めるもの

（３）観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入事業

県外及び国外に対し、高松市の観光資源等のＰＲを行うとともに、県外に対しては、各種観光キャンペーンへの参画、姉妹都市・交流都市との都市交流事業等の実施、国内観光旅行や教育旅行の誘致活動を実施する。また、国外に対しては、香川県、高松市と連携し、訪日外国人旅行者の誘客に取り組むとともに、観光庁が展開する訪日旅行促進事業であるビジット・ジャパン事業の地方連携事業に参画し、東四国アジア広域周遊戦略事業をはじめ、他団体とともに、海外からの誘客に取り組む。加えて、これら活動の効果を高めるため、国内外の旅行会社に対し、送客実績に応じた団体旅行助成金を交付する。

（ア）国内観光客誘致事業

- a ツーリズムＥＸＰＯジャパン観光キャンペーン事業
- b 都市交流事業（彦根市（姉妹城都市）・水戸市（親善都市）等）
- c 四国観光商談会（東京・大阪）

（イ）訪日外国人旅行者誘致事業

- a 教育旅行取扱旅行社招請事業（東四国アジア広域周遊戦略事業）
- b 香港ＭＩＣＥ取扱旅行社招請事業（東四国アジア広域周遊戦略事業）
- c ＶＪ海上航路を利用した瀬戸内広域プロモーション事業（ＶＪ地方連携事業）
- d 訪日視察・取材受入れ事業
- e 連携団体協同フォローアップ誘致訪問事業（地方連携事業）
- f 訪日外国人旅行者誘致推進事業

（ウ）団体旅行誘致事業助成金

高松市内及び三木町内の宿泊施設に１泊以上の宿泊を伴う旅行の募集型・受注型団体旅行商品（以下「団体旅行」という。）に対し、観光客の誘致拡大を目的に助成要件

を満たす団体旅行に助成金を交付する。

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布、さぬき高松まつり等地元観光イベントに参画し、観光客の受入れ体制の充実を図るとともに、電動アシスト自転車の主要観光地への整備、手荷物の一時預かり等を行い、観光客の利便性の向上を図る。また、瀬戸内海を観光資源として捉え、魅力ある瀬戸内海クルーズを実施する民間事業者を支援することにより、瀬戸内海に面した優位性を生かした観光振興を図る。

(ア) 観光パンフレット等作成

(イ) さぬき高松まつり

(ウ) 屋島山上初日来迎式

(エ) 観光レンタサイクル（電動）事業（仏生山、塩江、八栗）

(オ) 手ぶら観光推進事業

(カ) 飲食店、小売店等の多言語対応・先進的決済環境整備事業

鬼無観光協会と連携し、キャッシュレス機器及び他言語翻訳機器を導入する。

(キ) 瀬戸内海サンセットクルーズ事業の支援

ウ 広報宣伝事業

高松市出身又は一定期間居住及び活動した者で、観光振興に寄与することが期待される者を高松市観光大使として委嘱し、高松市の魅力をPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使及び高松特別ゆめ大使事業、観光名刺の販売事業等各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図る。

(ア) 高松市観光大使事業

(イ) 高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業

(ウ) 観光名刺販売事業

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣市町との連携が必要不可欠であることから、近隣市町の関係機関と連携した協議会に参画し、共同事業等の実施に向けた検討を行う。

(ア) 東備讃瀬戸観光懇談会（玉野市、高松市、土庄町、直島町）

(イ) 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型（募集型企画）旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行（ぶち旅プラン）の企画及び実施を行う。また、モデルコースの充実を図り個人客の誘客や他県からの団体旅行造成の促進に努める。

(5) サポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サポート高松のにぎわい創出事業

サポート高松において、イベントを実施したい団体・企業等に対し、イベント等に関する相談や実施に向けた協力、トラブルになりやすい警備や交通関係のアドバイスを行うとともに、イベントを公募するなど、イベント件数や来場者の増加に寄与することで、サン

ポート高松のにぎわいを創出する。

(ア) サンポート高松イベント大募集！

(イ) 団体等主催のイベント募集及び共催等開催支援事業

イ 広報宣伝事業

ホームページ等によりサンポート高松のイメージアップや知名度向上を行う。

(ア) ホームページ等を活用した情報提供事業

(イ) サンポート高松を中心とした広告宣伝事業

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施等サンポート高松のにぎわい創出に必要な問題点の検討等を行う。

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

（公社）香川県観光協会より本案内所の運営業務を受託し、高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性の向上を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用する。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、J N T O認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。W i - f i あり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されたことから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、近年増加している訪日外国人旅行者への対応を行う。

・場所 J R 高松駅内

・運営日 毎日（年中無休）

・開所時間 9：00～20：00

・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

(ア) 評議員会

(イ) 理事会

(ウ) その他、評議員・役員に関すること

イ 賛助会員

(ア) 賛助会員総会の開催

(イ) 賛助会員賀詞交歓会の開催

(ウ) 賛助会員名簿等の整備

(エ) 賛助会員加入促進

(オ) その他賛助会員に関すること

ウ その他財団の必要なこと

(ア) 経理業務

(イ) 処務業務

(ウ) 事務所維持管理

- (エ) インターネットを活用した広報及び情報提供
- (オ) 職員研修の実施
- (カ) 機関紙の発行
- (キ) その他

Ⅱ 令和２年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書

１ 収 支 予 算 書

(令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	4,089	4,089	0	
(2) 会費収入				
賛助会員会費収入	7,500	7,500	0	
(3) 事業収入				
広告等収入	378	375	3	
使用料収入	150	150	0	
参加料収入	600	600	0	
旅行商品販売収入	586	582	4	
物品等販売収入	1,135	1,090	45	
(4) 補助金等収入				
国庫補助金収入	150	0	150	
香川県補助金収入	9,370	9,286	84	
高松市補助金収入	88,899	94,739	△5,840	
開催支援補助金事業収入	30,000	31,000	△1,000	
(5) 受託事業収入				
受託事業収入	18,079	17,924	155	
(6) 特定資産運用収入				
退職給付引当金運用収入	5	5	0	
(7) 雑収入				
雑収入	6	6	0	
事業活動収入計	160,947	167,346	△6,399	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費				
コンベンション推進事業費	13,880	16,211	△2,331	
開催支援補助金事業費	30,000	31,000	△1,000	
観光客誘致事業費	14,249	16,464	△2,215	
観光振興事業費	5,524	5,932	△408	
旅行業事業費	1,350	1,337	13	
にぎわい創出事業費	3,071	3,697	△626	
観光施設管理運営事業費	18,079	17,924	155	
人件費	28,878	29,179	△301	
(2) 管理費				
役員報酬	4,856	4,856	0	
人件費	23,011	21,983	1,028	
法人管理運営費	18,049	18,763	△714	
事業活動支出計	160,947	167,346	△6,399	
事業活動収支差額	0	0	0	

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 退職給付引当預金積立収入	2,508	2,068	440	
投資活動収入計	2,508	2,068	440	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	2,508	2,068	440	
Ⅲ 財務活動の部				
1. 財務活動収入				
(1) 借入金収入				
短期借入金収入	4,000	4,000	0	
財務活動収入計	4,000	4,000	0	
2. 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出				
短期借入金返済支出	4,000	4,000	0	
(2) 退職給付引当金組戻支出	2,508	2,068	440	
財務活動支出計	6,508	6,068	440	
財務活動収支差額	△2,508	△2,068	△440	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

２ 正 味 財 産 増 減 予 算 書

(令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,615	4,104	511
特定資産運用益			
退職給付引当金運用益	5	5	0
受取会費			
受取賛助会員会費	7,500	7,500	0
事業収入			
広告料収入	378	375	3
使用料収入	150	150	0
参加料収入	600	600	0
旅行業販売収入	586	582	4
物品販売収入	1,135	1,090	45
受取補助金等			
受取国庫補助金	150	0	150
受取香川県補助金	9,370	9,286	84
受取高松市補助金	88,899	94,739	△5,840
受取開催支援事業補助金	30,000	31,000	△1,000
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	18,079	17,924	155
雑収入			
雑収入	6	6	0
経常収益計	161,473	167,361	△5,888
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	26,352	28,989	△2,637
臨時雇賃金等	7,390	5,359	2,031
福利厚生費	5,152	5,461	△309
会議費	164	444	△280
旅費交通費	5,087	5,577	△490
報酬	520	598	△78
報償費	699	1,022	△323
通信運搬費	218	217	1
消耗品費	907	1,027	△120
印刷製本費	5,314	6,232	△918
賃借料	556	557	△1
支払負担金	16,920	17,704	△784
支払補助金	34,225	36,808	△2,583
広告宣伝費	1,115	1,404	△289
委託料	5,470	6,276	△806
仕入費	1,767	1,912	△145
修繕費	0	44	△44
保険料	11	11	0
租税公課	1,139	1,025	114
諸会費	300	300	0
新聞図書費	157	161	△4
支払手数料	166	219	△53
備品購入費	300	0	300
退職給付費用	696	0	696

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
雑費	105	105	0
減価償却費	3,180	3,235	△55
賞与引当金繰入	308	292	16
管理費			
役員報酬	4,856	4,856	0
給料手当	15,622	15,423	199
臨時雇賃金等	796	0	796
福利厚生費	3,644	3,361	283
会議費	1,068	1,067	1
報酬	23	23	0
通信運搬費	1,928	1,987	△59
消耗品費	725	845	△120
印刷製本費	525	705	△180
賃借料	10,860	10,821	39
諸会費	747	746	1
支払負担金	50	51	△1
委託料	444	685	△241
光熱水費	1,297	1,444	△147
燃料費	100	101	△1
保険料	165	172	△7
租税公課	10	10	0
退職給付費用	1,812	2,068	△256
新聞図書費	98	97	1
支払手数料	9	9	0
減価償却費	141	327	△186
賞与引当金繰入	1,141	1,131	10
経常費用計	164,279	170,908	△6,629
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,806	△3,547	741
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,806	△3,547	741
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,806	△3,547	741
一般正味財産期首残高	11,364	12,474	△1,110
一般正味財産期末残高	8,558	8,927	△369
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用損益	526	15	511
一般正味財産への振替額	△526	△15	△511
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	542,906	542,906	0
指定正味財産期末残高	542,906	542,906	0
III 正味財産期末残高	551,464	551,833	△369

3 正 味 財 産 増 減 予 算 書 (内訳表)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	2,147		1,865				603		4,615
特定資産運用益									
退職給付引当金運用益								5	5
受取会費									
受取賛助会員会費	2,500		2,500				2,500		7,500
事業収入									
広告料収入	81							297	378
使用料収入			150						150
参加料収入								600	600
旅行業販売収入				586					586
物品販売収入	590		545						1,135
受取補助金等									
受取国庫補助金			150						150
受取香川県補助金	4,106				1,472		3,792		9,370
受取高松市補助金	4,873		14,648	764	1,599		22,007	45,008	88,899
受取開催支援事業補助金		30,000							30,000
受託事業収入									
観光施設管理運営事業収入						18,079			18,079
雑収入									
雑収入								6	6
経常収益計	14,297	30,000	19,858	1,350	3,071	18,079	28,902	45,916	161,473
(2) 経常費用									
事業費									
給料手当						4,797	21,555		26,352
臨時雇賃金等						5,243	2,147		7,390
福利厚生費						973	4,179		5,152
会議費	42		121	1					164
旅費交通費	2,563		2,402			122			5,087
報酬	35		411		74				520
報償費			699						699
通信運搬費	31					187			218
消耗品費	688					219			907
印刷製本費	2,786		871	843	814				5,314
賃借料	183		368		5				556
支払負担金	5,370		9,550		2,000				16,920
支払補助金	300	30,000	3,875		50				34,225
広告宣伝費	674		334		107				1,115
委託料	109		53			5,308			5,470
仕入費	594		689	484					1,767
保険料				11					11
租税公課						1,139			1,139
諸会費	300								300
新聞図書費	110					47			157
支払手数料	11		100	11		44			166
備品購入費			300						300
退職給付費用							696		696
雑費	84				21				105
減価償却費	632		2,400		148				3,180
賞与引当金繰入							308		308

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	共通		
管理費									
役員報酬								4,856	4,856
給料手当								15,622	15,622
臨時雇賃金等								796	796
福利厚生費								3,644	3,644
会議費								1,068	1,068
報酬								23	23
通信運搬費								1,928	1,928
消耗品費								725	725
印刷製本費								525	525
賃借料								10,860	10,860
諸会費								747	747
支払負担金								50	50
委託料								444	444
光熱水費								1,297	1,297
燃料費								100	100
保険料								165	165
租税公課								10	10
退職給付費用								1,812	1,812
新聞図書費								98	98
支払手数料								9	9
減価償却費								141	141
賞与引当金繰入								1,141	1,141
経常費用計	14,512	30,000	22,173	1,350	3,219	18,079	28,885	46,061	164,279
評価損益等調整前当期経常増減額	△215	0	△2,315	0	△148	0	17	△145	△2,806
投資有価証券評価損益等									0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△215	0	△2,315	0	△148	0	17	△145	△2,806
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常費用									
経常外費用									0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額									0
当期一般正味財産増減額	△215	0	△2,315	0	△148	0	17	△145	△2,806
一般正味財産期首残高	2,587	14	4,109	3,014	662	0	306	672	11,364
一般正味財産期末残高	2,372	14	1,794	3,014	514	0	323	527	8,558
II 指定正味財産増減の部									
基本財産運用損益	417		85				24		526
一般正味財産への振替額	△417		△85				△24		△526
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	149,594	0	149,641	0	0	0	243,671	0	542,906
指定正味財産期末残高	149,594	0	149,641	0	0	0	243,671	0	542,906
III 正味財産期末残高	151,966	14	151,435	3,014	514	0	243,994	527	551,464

4 資金調達及び設備投資の見込みについて

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

- 1 資金調達の見込みについて
当期中における借入の予定及び借入先等

借入の予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途

- 2 設備投資の見込みについて
当期中における重要な設備等（除却又は売却を含む。）の予定の有無

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途

令和元年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

I 令和元年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書

平成31年4月 1日から

令和 2年3月31日まで

1 概要

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、人・物・情報が活発に交流する個性と魅力ある都市づくりのため、観光客及びコンベンションの誘致を始め、観光とコンベンションを「有機的総合的」に展開し得る事業の取組を行ってきたほか、サンポート高松のにぎわい創出についても鋭意取組を進めてきた。

コンベンション推進部門では、今年度末に新型コロナウイルス感染症によるMICEの取消しや延期などで影響を受けたものの、首都圏等大都市圏、地元香川大学を始め四国の各大学のMICE（国内・国際）キーパーソンに対し、大会情報の収集や、施設機能及び支援制度の説明など継続的に誘致活動を展開してきた。中でも地方都市の6都市が連携して実施している共同誘致事業、IME（国際MICEエキスポ）への出展では、情報の発信や収集など、効率良く組織力を発揮した誘致活動を展開することができた。また、日本政府観光局

（JNTO）が主催する台湾インセンティブセミナーやシンガポールMICEセミナーに出展し、各国の大会組織団体や旅行会社を含む大会運営会社向けに、国際会議等又は企業コンベンションの誘致に対する支援施策を周知するなど、高松市及び近隣町でのMICE開催につながる事業展開を行うことができた。

観光振興部門では、新型コロナウイルス感染症による観光客の減少など、厳しい状況下にあったものの、瀬戸内国際芸術祭2019の開催などもあり、香川県や高松市を始めとした関係機関とともに誘致活動を実施し、多くの観光客の来高につなげることができた。また、彦根市、水戸市、由利本荘市との都市交流事業、各種観光キャンペーンへの参画などの各種観光振興事業、第3種旅行業商品の「ぷち旅プラン」を造成したほか、瀬戸内海クルーズ事業を実施する民間事業者を支援するなど、高松市の観光振興につながる事業展開を行うことができた。

サンポート高松のにぎわい創出部門では、新型コロナウイルス感染症に起因するイベントの中止が数件あったものの、イベントアイデア募集事業を始めとする民間団体・企業等のイベントの支援を行うことで、年間を通じて多彩なイベントが開催され、のにぎわいの創出に寄与できた。

具体的には、コンベンション推進、観光振興、サンポート高松のにぎわい創出など、関係機関・各種団体と連携を密にし、以下の諸事業を実施した。

（1）国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致及び支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施した。

（2）コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議や全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する

事業を実施した。

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等地域経済のあらゆる領域にわたりその発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものであることから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、観光客の誘致や受入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与する事業を実施した。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く）（以下「高松市等」と言う。）の新たな観光資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発並びに利用者による情報発信を実施した。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

サンポート高松に人・物・情報を集めることによりにぎわいを創出し、国際交流及び情報化の推進、産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施した。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に來訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市及び香川県の滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に努めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながることで、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、（公社）香川県観光協会よりこれを受託し、管理運営する事業を実施した。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 事業の内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

コンベンション誘致は一般的な観光誘致と違い、企業・産学活動、学術などと関連することが多く、そこから派生する人的交流や知識交換などの付加価値が生じることに大きな意義がある。また、コンベンションの開催では、国内外からの参加者の移動や宿泊、そしてそれに伴う消費支出、事業支出といった一連の動きそのものが地域全体に経済波及効果をもたらす。

現在、全国53か所の国際会議観光都市が選定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため継続的に誘致活動を展開した。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等の主催事務局	10回	266団体
b 四国内の大学及び岡山県内の大学等	4回	14大学等

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

a 県内における大会関係者など誘致訪問	随時	30団体
---------------------	----	------

b	県・市立学校校長会での開催支援制度説明	7月・8月	2回
(ウ)	共同誘致事業		
a	6 地方都市コンベンション関連団体合同誘致セミナー (新潟・松本・びわこ・和歌山・高松・長崎)	7月 11月	49団体 42団体
b	IME (国際MICEエキスポ) への出展	2月	東京
c	VJTM-MICEマートへの出展	9月	大阪
d	5 都市共同誘致懇談会 (盛岡・金沢・静岡・高松・熊本)	2月	東京
e	中国四国コンベンション誘致推進協議会	7月 12月	広島 東京
f	四国地区観光コンベンション情報交換会	6月 3月	高知 松山
g	JNTO 台湾 インセンティブセミナー	8月	台北
h	JNTO シンガポール MICEセミナー	10月	シンガポール
i	香川県MICE誘致推進協議会との連携 第80回応用物理学会秋季学術講演会	9月	北海道
イ	コンベンション誘致支援事業		
	高松市及び香川県でコンベンションの開催の意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談や、開催計画の提案や代行、コンベンション主催者等の視察の受入れ、国際会議・企業コンベンション誘致支援事業等を行うことで、高松市及び香川県での開催を促した。		
(ア)	主催者等招請事業及び視察受入れ	6団体	10名受入れ
(イ)	国際会議等・企業コンベンション誘致支援事業		
(ウ)	開催企画書の作成代行、テンプレート提供		
(エ)	誘致イベント (MICEツアー) の開催	5社	5名受入れ
ウ	コンベンション開催支援事業		
	高松市及び香川県で開催予定のコンベンション主催者に対し、コンベンション・コンシェルジュとして準備から開催までのノウハウの提供等を行い、主催者の開催を補助するとともに、参加者に対して、各種観光パンフレットの配布による情報提供並びに利便性の向上を図った。		
(ア)	コンベンション・コンシェルジュとしての主催者支援		
(イ)	コンベンション運営スタッフ紹介事業 (無料職業紹介事業)		
(ウ)	観光パンフレット等各種参加者支援		
エ	広報宣伝事業		
	インターネットを活用した情報発信や業界誌に対する広告を行うことで、高松市及び香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介し、コンベンションの開催を促した。		
(ア)	団体、賛助会員等に対する啓発・周知		
(イ)	専門誌等への広告		1回
(ウ)	ホームページの充実による情報発信の強化		
オ	コンベンション情報収集提供事業		
	誘致事業等により得られたデータを整理し、コンベンション開催予定表を作成し、広く一般に周知した。また、自らが、主催者及び参加者にアンケート調査を行い、コンベ		

ンションがもたらす経済波及効果を試算するためのコンベンションデータを収集した。
加えて、これまで蓄積した主催者情報並びに大会情報データベースを活用し、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実施できるよう努めた。

(ア) 開催情報のデータ整備

(イ) 統計書作成・経済波及効果・アンケート調査の実施

平成30年度 約60億円

(ウ) コンベンションカレンダーの作成と提供

(エ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）への参画

総会 6月 東京

部会 7月 福島

12月 千葉

(オ) 主催者情報・大会情報データベースの整備

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

全国大会等開催補助金交付要綱を定め、次の国際会議等を開催支援補助金を交付した。

【補助金交付実績】()内は昨年度実績

国際会議等	4件	(4件)	
国内大会	17件	(19件)	
国内学会等	14件	(13件)	
スポーツ大会	14件	(18件)	
企業コンベンション	0件	(0件)	令和元年度より補助金制度なし
教育旅行	0件	(3件)	令和元年度より補助金制度なし
合宿等	23件	(28件)	
計	72件	(85件)	

※新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセル及び延期 12件

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入れ事業

県外及び国外に対し、高松市の観光資源等のPRを行うとともに、県外に対しては、修学旅行を始めとした教育旅行や募集型・受注型団体等の誘致活動、各種観光キャンペーンへの参画、姉妹城都市・交流都市との都市交流事業等を実施した。

また、国外に対しては、観光庁が展開する訪日外国人旅行者の増加を目的としたビジット・ジャパン事業の地方連携事業に参画し、四国運輸局及び四国ツーリズム創造機構、四国内のコンベンション推進団体と共同で中国教育旅行や香港のMICEの誘致に取り組むとともに、香川県・高松市と共同で訪日外国人旅行者の誘致及び受入れ事業を実施した。

加えて、これら事業の効果を高め、団体旅行の送客を促進するため、国内外の旅行会社に対し、送客実績に応じた団体旅行誘致事業補助金を交付した。

(ア) 国内観光客誘致事業

a ツーリズムEXPOジャパン観光キャンペーン事業 10月 大阪

b 都市交流事業 11月 彦根

- c 四国観光商談会 9月 東京
10月 大阪
- d お城E X P O 12月 横浜
- (イ) 訪日外国人観光客誘致事業
- a 教育旅行取扱旅行社招請事業（東四国アジア広域周遊戦略事業）
誘致訪問 11月 上海・杭州
12月 5名受入れ
- b 香港M I C E取扱旅行社招請事業（東四国アジア広域周遊戦略事業）
誘致訪問 11月 香港・広州
12月 5名受入れ
- c V J 英国メディア招請事業（V J 地方連携事業） 7月 旅行出展
10月 3名受入れ
- d 訪日視察・取材・団体受入れ事業 5回 114名受入れ
- e 訪日教育旅行誘致訪問（地方連携事業） 11月 香港・広州
11月 上海・杭州
- f 訪日外国人旅行者誘致推進事業
・ V J 商談会 6月 ソウル
・ 旅行会社誘致訪問 8月 台湾

(ウ) 団体旅行誘致事業補助金

募集型・受注型団体旅行誘致促進事業助成金交付要綱を定め、次の募集型・受注型団体旅行に補助金を交付した。

【補助金交付実績】（ ）内は昨年実績

上半期	109件	(94件)
下半期	51件	(48件)
計	160件	(142件)

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布、さぬき高松まつり等地元観光イベントへの参画、また、手荷物預かりなどの利便性の向上に努めることにより、観光客の受入れ体制の充実を図り、高松市の観光振興を推進した。

- (ア) 観光パンフレット等作成 さぬきうどん食べ歩きMAP 9月
- (イ) さぬき高松まつり（花火大会は台風のため中止） 8月
- (ウ) 屋島山上初日来迎式 1月
- (エ) 観光レンタサイクル（電動）事業 895台
仏生山5台・塩江4台・八栗5台設置
- (オ) 手ぶら観光推進事業（J R 高松駅前） 12,008件
- (カ) 瀬戸内海クルージング事業の支援 5月～11月 96名参加

ウ 広報宣伝事業

高松市出身又は一定期間居住及び活動した者で、観光振興に寄与することが期待される者を高松市観光大使として委嘱し、高松市の良さをPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使及び高松特別ゆめ事業、観光名刺の販売事業など各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図

った。

(ア) 高松市観光大使事業

a 研修会（首都圏・関西）

11月

(イ) 高松ゆめ大使及び高松特別ゆめ大使事業

出務回数 38件

(ウ) 観光名刺販売事業

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣市町等との連携が必要不可欠であることから、関係機関で組織する懇談会等に参加し、共同事業等の実施に向けた検討を行った。

(ア) 東備讃瀬戸観光懇談会（玉野・高松・土庄・直島）

9月 玉野

(イ) 四国地区観光情報交換会

6月 高知

3月 松山

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型（募集型企画）旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行（ぶち旅プラン）の企画及び実施を行った。また、モデルコースの充実を図り、個人旅行の誘客や県外からの団体造成の促進に努めた。

商品造成 9コース 112名参加

※新型コロナウイルス感染症の影響による着地型旅行の中止

1件

(5) サポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サポート高松のにぎわい創出事業

サポート高松において、イベントを実施したい民間団体・企業等に対し、イベント等に関する相談や実施に向けた協力、トラブルになりやすい警備や交通関係のアドバイスをを行うとともに、イベントアイデアを公募し、開催に向け支援するなど、関係諸団体と協力し、サポート高松のにぎわい創出に努めた。

(ア) 民間団体等主催のイベント募集及び共催等開催支援事業

支援（共催）事業 16件

（うちイベントアイデア採択事業 7件）

※新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止

2件

(イ) ふれあいコンサート

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための中止

イ 広報宣伝事業

ホームページ等により、サポート高松のイメージアップや知名度向上を図った。

(ア) ホームページを活用した情報提供事業

(イ) 情報誌等での広告宣伝事業

3回

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施などサポート高松のにぎわい創出に必要な問題点の検討等を行った。

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用した。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、JNTO認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fiあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されたことから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、近年増加している訪日外国人旅行者への対応を行った。

- ・場所 JR高松駅構内
- ・運営日 毎日（年中無休）
- ・開所時間 9：00～20：00
- ・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

利用件数 117,919件（うち外国人38,371件）

利用人数 70,643人（うち外国人22,566人）

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

- (ア) 評議員会 5月 6月
- (イ) 理事会 5月 1月 3月
- (ウ) その他、役員・評議員に関すること

イ 賛助会員

- (ア) 賛助会員総会等の開催 7月 総会 1月 新年賀詞交歓会
- (イ) 賛助会員名簿等の整備
- (ウ) 賛助会員加入促進
- (エ) その他賛助会員に関すること

ウ その他財団の必要なこと

- (ア) 経理業務
- (イ) 処務業務
- (ウ) 事務所維持管理
- (エ) インターネットを活用した広報及び情報提供 6,065,633回
- (オ) 職員研修の実施
- (カ) 機関紙の発行
- (キ) その他

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

3 評議員会に関する事項

事業報告及び決算の承認、評議員及び役員の選任等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
(臨時)			
議案第 1 号	評議員の選任について	H31. 4. 17	R 1. 5. 9
議案第 2 号	理事の選任について	H31. 4. 17	R 1. 5. 9
(定時)			
議案第 3 号	平成 3 0 年度事業報告及び決算について	R 1. 6. 19	R 1. 6. 19
議案第 4 号	評議員の選任について	R 1. 6. 19	R 1. 6. 19

4 評議員に関する事項

(1) 令和 2 年 3 月 3 1 日現在の評議員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	石 川 雅 章	高松琴平電気鉄道（株）執行役員管理本部統括部長	H28. 11. 18
評 議 員	今 西 照 章	（一社）香川県バス協会専務理事	H27. 6. 9
評 議 員	岡 田 孝 浩	香川県農業協同組合中央会参事	H26. 4. 18
評 議 員	香 川 英 子	さぬき麺業（株）常務取締役	H25. 3. 26
評 議 員	門 岡 誠	（株）高松三越代表取締役社長	H30. 4. 27
評 議 員	川 畑 貢	香川県信用組合理事長	H25. 3. 26
評 議 員	桑 嶋 貴 史	（株）中央代表取締役社長	H13. 3. 26
評 議 員	三 枝 邦 彦	（一社）小豆島観光協会顧問	H28. 6. 1
評 議 員	新 池 伸 司	香川県交流推進部長	H30. 4. 27
評 議 員	竹 田 省 二	（株）瀬戸内海放送取締役顧問	H16. 4. 1
評 議 員	寺 師 大 祐	高松タクシー協会会長	R 1. 6. 19
評 議 員	徳 永 孝 明	高松ホテル旅館料理協同組合副理事長	H24. 4. 1

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	富 永 久	西日本放送（株）取締役総務局長兼経営企画部長	H28. 6. 1
評 議 員	長 井 一 喜	高松市創造都市推進局長	R 1. 5. 9
評 議 員	蓮 井 明 博	高松信用金庫顧問	H28. 6. 1
評 議 員	原 直 行	香川大学経済学部教授	H28. 6. 1
評 議 員	平 田 有一郎	（公社）高松青年会議所直前理事長	R 1. 6. 19
評 議 員	藤 岡 克 門	四国電力（株）香川支店総務部長	R 1. 5. 9
評 議 員	藤 澤 英 治	塩江温泉観光協会会長	H20. 4. 1
評 議 員	藤 村 晶 彦	（株）百十四銀行取締役常務執行役員	H30. 4. 27
評 議 員	森 静 家	屋島山上観光協会会長	H26. 4. 18
評 議 員	森 惟 夫	香川県ゴルフ協会代議員	H20. 4. 1

（２）評議員の辞任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	辞任年月日
評 議 員	芦 田 克 也	高松タクシー協会会長	R 1. 6. 19
評 議 員	松 岡 敬 三	（公社）高松青年会議所理事長	R 1. 6. 19
評 議 員	門 岡 誠	（株）高松三越代表取締役社長	R 2. 3. 31
評 議 員	新 池 伸 司	香川県交流推進部長	R 2. 3. 31

（３）評議員の退任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	退任年月日
評 議 員	臼 杵 徹	琴平町観光協会専務理事	R 2. 2. 23

5 理事会に関する事項

事業報告及び決算並びに事業計画及び予算の承認、諸規程の改廃等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
(第1回)			
議案第1号	副理事長の互選について	R 1. 5. 30	R 1. 5. 30
議案第2号	平成30年度事業報告及び決算（案）について	R 1. 5. 30	R 1. 5. 30
議案第3号	定時評議員会の開催について	R 1. 5. 30	R 1. 5. 30
(第2回)			
議案第4号	職員給与規程の一部改正について	R 1. 12. 20	R 2. 1. 10
議案第5号	育児・介護休業等に関する規程の一部改正について	R 1. 12. 20	R 2. 1. 10
(第3回)			
議案第6号	令和2年度事業計画及び予算について	R 2. 3. 12	R 2. 3. 24
議案第7号	臨時評議員会の開催について	R 2. 3. 12	R 2. 3. 24

6 役員に関する事項

(1) 令和2年3月31日現在の役員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
理 事 長	佐 野 正	(株) ジェイアール四国企画顧問	H26. 4. 18
副 理 事 長	三 矢 昌 洋	高松ホテル旅館料理協同組合相談役	H 6. 9. 27
副 理 事 長	三 好 正 明	香川県交流推進部次長	H30. 4. 27
副 理 事 長	一 原 玄 子	高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部長	R 1. 5. 9
副 理 事 長	宮 武 寛	高松商工会議所常務理事・事務局長	H28. 4. 25
専 務 理 事	東 原 利 則	(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー専務理事	H30. 4. 1
理 事	安 部 雅 之	(公財) 高松市文化芸術財団常務理事	H28. 6. 1
理 事	石 崎 庸 一	シンボルタワー開発(株) 専務取締役	H29. 6. 27

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
理 事	内 田 裕 幸	(公社) 香川県観光協会専務理事	H30. 6. 29
理 事	小 田 和 彦	日本航空(株) 高松支店長	H30. 12. 19
理 事	北 島 茂 俊	香川県社交飲食業生活衛生同業組合副理事長兼専務理事	H28. 6. 1
理 事	高 橋 宗 民	香川県ホテル協会会長	H30. 6. 29
理 事	中 島 浩	A N Aセールス(株) 高松支店長	H29. 4. 25
理 事	野 浪 健	(株) J T B 高松支店長	H30. 3. 22
理 事	古 川 康 造	高松中央商店街振興組合連合会理事長	H25. 6. 24
理 事	松 村 英 幹	高松商運(株) 代表取締役社長	H26. 5. 23
理 事	真 鍋 睦	(株) 電通西日本高松支社支社長	R 1. 5. 9
理 事	村 上 義 憲	セーラー広告(株) 代表取締役社長	H28. 6. 1
理 事	米 田 優	レクザムホール(香川県県民ホール) 館長	H28. 6. 1
監 事	勝 丸 千 晶	公認会計士	H30. 6. 29
監 事	山 田 徑 男	(株) 香川銀行常務取締役	H29. 12. 8

(2) 役員の辞任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	辞任年月日
副 理 事 長	三 好 正 明	香川県交流推進部次長	R 2. 3. 31
副 理 事 長	一 原 玄 子	高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部長	R 2. 3. 31

Ⅱ 令和元年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書

1 収 支 計 算 書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
(1) 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	4,089,000	4,073,482	15,518
(2) 会費収入			
賛助会員会費収入	7,500,000	6,865,000	635,000
(3) 事業収入			
広告等収入	375,000	373,400	1,600
使用料収入	150,000	89,500	60,500
参加料収入	600,000	918,713	△ 318,713
旅行商品販売収入	582,000	289,440	292,560
物品等販売収入	1,090,000	1,510,100	△ 420,100
(4) 補助金等収入			
香川県補助金収入	9,286,000	8,897,973	388,027
高松市補助金収入	94,739,000	85,879,836	8,859,164
開催支援補助金事業収入	31,000,000	21,027,000	9,973,000
(5) 受託事業収入			
受託事業収入	17,924,000	17,864,055	59,945
(6) 特定資産運用収入			
退職給付引当金運用収入	5,000	4,742	258
(7) 雑収入			
雑収入	6,000	170,034	△ 164,034
事業活動収入計	167,346,000	147,963,275	19,382,725
2 事業活動支出			
(1) 事業費			
コンベンション推進事業費	16,211,000	12,958,039	3,252,961
開催支援補助金事業費	31,000,000	21,027,000	9,973,000
観光客誘致事業費	16,464,000	15,652,321	811,679
観光振興事業費	5,932,000	5,684,060	247,940
旅行業事業費	1,337,000	1,103,043	233,957
にぎわい創出事業費	3,697,000	3,639,049	57,951
観光施設管理運営事業費	17,924,000	17,864,055	59,945
人件費	29,179,000	27,754,773	1,424,227

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
(2) 管理費			
役員報酬	4,856,000	4,361,500	494,500
人件費	21,983,000	21,109,432	873,568
法人管理運営費	18,763,000	16,810,003	1,952,997
事業活動支出計	167,346,000	147,963,275	19,382,725
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
(1) 退職給付引当預金積立収入	2,068,000	2,070,633	△ 2,633
投資活動収入計	2,068,000	2,070,633	△ 2,633
2 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	2,068,000	2,070,633	△ 2,633
III 財務活動の部			
1 財務活動収入			
(1) 借入金収入			
短期借入金収入	4,000,000	0	4,000,000
財務活動収入計	4,000,000	0	4,000,000
2 財務活動支出			
(1) 借入金返済支出			
短期借入金返済支出	4,000,000	0	4,000,000
(2) 退職給付引当金組戻支出	2,068,000	2,070,633	△ 2,633
財務活動支出計	6,068,000	2,070,633	3,997,367
財務活動収支差額	△ 2,068,000	△ 2,070,633	2,633
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、売掛金、未収金、買掛金、未払金、未払費用、前受会費、預り金及び未払消費税を含めており、当期末の残高は、次項に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末金額	当期末金額
1 流動資産		
現金預金	23,446,598	18,539,249
売掛金	3,960	0
未収金	4,100,831	4,510,225
流動資産合計	27,551,389	23,049,474
1 流動負債		
買掛金	161,804	0
未払金	25,295,979	21,471,962
未払費用	222,675	182,432
前受会費	0	10,000
預り金	1,322,228	753,271
未払消費税	548,703	631,809
流動負債合計	27,551,389	23,049,474
次期繰越収支差額	0	0

2 貸 借 対 照 表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	18,539,249	23,446,598	△ 4,907,349
売掛金	0	3,960	△ 3,960
未収金	4,510,225	4,100,831	409,394
棚卸資産	1,960,464	1,751,949	208,515
流動資産合計	25,009,938	29,303,338	△ 4,293,400
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	11	0	11
定期預金	45,740,416	44,450,000	1,290,416
投資有価証券	498,054,224	499,721,217	△ 1,666,993
基本財産合計	543,794,651	544,171,217	△ 376,566
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	29,390,735	27,320,102	2,070,633
供託金	3,000,000	3,000,000	0
資産取得資金	0	4,800,000	△ 4,800,000
特定資産合計	32,390,735	35,120,102	△ 2,729,367
(3) その他固定資産			
建物	492,585	526,953	△ 34,368
建物附属設備	114,131	125,175	△ 11,044
器具備品	5,908,154	2,944,403	2,963,751
電話加入権	145,600	145,600	0
車両運搬具	0	1	△ 1
保証金	60,000	60,000	0
その他固定資産合計	6,720,470	3,802,132	2,918,338
固定資産合計	582,905,856	583,093,451	△ 187,595
資産合計	607,915,794	612,396,789	△ 4,480,995
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	0	161,804	△ 161,804
未払金	21,471,962	25,295,979	△ 3,824,017
未払費用	182,432	222,675	△ 40,243
前受会費	10,000	0	10,000
預り金	753,271	1,322,228	△ 568,957
賞与引当金	2,392,883	1,422,178	970,705
未払消費税	631,809	548,703	83,106
流動負債合計	25,442,357	28,973,567	△ 3,531,210
2 固定負債			
退職給付引当金	29,390,735	27,320,102	2,070,633
固定負債合計	29,390,735	27,320,102	2,070,633
負債合計	54,833,092	56,293,669	△ 1,460,577

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
高松市出捐金	300,000,000	300,000,000	0
高松市基本財産積立金	91,906,000	91,906,000	0
香川県出捐金	150,000,000	150,000,000	0
民間団体寄付金	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産合計	542,906,000	542,906,000	0
(うち基本財産への充当額)	(542,906,000)	(542,906,000)	(0)
2 一般正味財産	10,176,702	13,197,120	△ 3,020,418
(うち基本財産への充当額)	(888,651)	(1,265,217)	(△ 376,566)
(うち特定資産への充当額)	(3,000,000)	(7,800,000)	(△ 4,800,000)
正味財産合計	553,082,702	556,103,120	△ 3,020,418
負債及び正味財産合計	607,915,794	612,396,789	△ 4,480,995

貸借対照表内訳表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
I 資産の部								
1 流動資産								
現金預金	863,729	10,326,000	1,908,889			1,014,310	61,352	18,539,249
未収金	2,333,657		89,500	3,216	53,674	2,927	1,868,142	4,510,225
棚卸資産	1,674,804		285,660					1,960,464
流動資産合計	4,872,190	10,326,000	2,284,049	3,216	53,674	1,017,237	1,929,494	25,009,938
2 固定資産								
(1) 基本財産								
普通預金	11							11
定期預金	1,159,353		131,063				44,450,000	45,740,416
投資有価証券	148,544,488		149,672,479				199,837,257	498,054,224
基本財産合計	149,703,852	0	149,803,542	0	0	0	244,287,257	543,794,651
(2) 特定資産								
退職給付引当資産								
供託金								
特定資産合計	0	0	0	3,000,000			21,854,951	29,390,735
(3) その他固定資産								
建物								
建物附属設備								492,585
器具備品	760,983	1	3,400,002	1	648,001			114,131
電話加入権	22,750	13,650	40,950	13,650	13,650		4,550	5,908,154
保証金								145,600
その他固定資産合計	783,733	13,651	3,440,952	13,651	661,651	0	4,550	60,000
固定資産合計	150,487,585	13,651	153,244,494	3,013,651	661,651	0	266,146,758	6,720,470
資産合計	155,359,775	10,339,651	155,528,543	3,016,867	715,325	1,017,237	268,076,252	582,905,856
								607,915,794

(単位：円)

科 目	公益目的事業						法人会計	合 計
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	共通	
II 負債の部								
1 流動負債								
未払金	3,197,386	10,326,000	1,998,389	3,216	53,674	385,428	1,919,494	21,471,962
未払費用							10,000	182,432
前受会費								10,000
預り金								753,271
賞与引当金								2,392,883
未払消費税						631,809	1,153,880	631,809
流動負債合計	3,197,386	10,326,000	1,998,389	3,216	53,674	1,017,237	3,083,374	25,442,357
2 固定負債								
退職給付引当金								
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	21,854,951	29,390,735
負債合計	3,197,386	10,326,000	1,998,389	3,216	53,674	1,017,237	24,938,325	29,390,735
III 正味財産の部								
1 指定正味財産								
高松市出捐金	99,594,000		99,641,000				100,765,000	300,000,000
高松市基本財産積立金							91,906,000	91,906,000
香川県出捐金	50,000,000		50,000,000				50,000,000	150,000,000
民間団体寄付金							1,000,000	1,000,000
指定正味財産合計	149,594,000	0	149,641,000	0	0	0	243,671,000	542,906,000
(うち基本財産への充当額)	(149,594,000)		(149,641,000)				(243,671,000)	(542,906,000)
2 一般正味財産	2,568,389	13,651	3,889,154	3,013,651	661,651	0	△ 533,073	10,176,702
(うち基本財産への充当額)	(109,852)		(162,542)	(3,000,000)			(616,257)	(888,651)
(うち特定資産への充当額)								(3,000,000)
正味財産合計	152,162,389	13,651	153,530,154	3,013,651	661,651	0	243,137,927	553,082,702
負債及び正味財産合計	155,359,775	10,339,651	155,528,543	3,016,867	715,325	1,017,237	268,076,252	607,915,794

3 正 味 財 産 増 減 計 算 書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,696,916	4,599,144	△ 902,228
特定資産運用益			
退職給付資産運用益	4,742	4,564	178
受取会費			
賛助会員受取会費	6,865,000	7,045,000	△ 180,000
事業収入			
広告等収入	373,400	381,600	△ 8,200
使用料収入	89,500	83,000	6,500
参加料収入	918,713	489,000	429,713
旅行業販売収入	289,440	405,040	△ 115,600
物品等販売収入	1,510,100	1,812,550	△ 302,450
受取補助金			
受取香川県補助金	8,897,973	8,489,751	408,222
受取高松市補助金	85,879,836	91,644,493	△ 5,764,657
受取開催支援事業補助金	21,027,000	28,244,000	△ 7,217,000
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	17,864,055	17,643,897	220,158
雑収入			
雑収入	170,034	150,724	19,310
経常収益計	147,586,709	160,992,763	△ 13,406,054
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	26,714,299	28,443,019	△ 1,728,720
福利厚生費	4,880,518	4,716,287	164,231
会議費	482,602	393,592	89,010
旅費交通費	5,015,447	5,216,572	△ 201,125
報酬	570,646	578,620	△ 7,974
通信運搬費	132,114	113,887	18,227
消耗品費	207,731	260,257	△ 52,526
印刷製本費	4,762,420	3,267,108	1,495,312
賃借料	559,076	519,226	39,850
支払負担金	17,343,692	17,697,724	△ 354,032
支払補助金	26,267,000	33,144,000	△ 6,877,000
雑費	79,213	26,231	52,982
広告宣伝費	1,498,139	849,852	648,287
委託料	5,509,303	6,129,516	△ 620,213
臨時雇賃金等	6,233,115	5,663,170	569,945
仕入費	1,370,811	1,909,497	△ 538,686
人材派遣費	45,348	0	45,348
報償費	1,034,190	385,365	648,825

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
保険料	35,154	9,643	25,511
租税公課	1,034,809	933,330	101,479
退職給付費用	812,032	805,503	6,529
支払手数料	168,962	172,050	△ 3,088
備品購入費	0	93,978	△ 93,978
支払利息	0	1,686	△ 1,686
新聞図書費	45,553	150,176	△ 104,623
諸会費	380,000	300,000	80,000
減価償却費	1,991,579	512,699	1,478,880
賞与引当金繰入	1,153,880	291,651	862,229
管理費			
給料手当	15,184,482	15,760,134	△ 575,652
福利厚生費	3,535,822	3,664,406	△ 128,584
会議費	938,271	1,052,728	△ 114,457
旅費交通費	47,540	19,246	28,294
報酬	14,780	9,140	5,640
通信運搬費	1,271,762	1,410,425	△ 138,663
消耗品費	596,949	649,485	△ 52,536
印刷製本費	299,920	477,468	△ 177,548
賃借料	10,565,323	10,615,321	△ 49,998
支払負担金	111,500	138,000	△ 26,500
雑費	0	3,200	△ 3,200
広告宣伝費	11,000	0	11,000
委託料	502,200	446,580	55,620
光熱水費	1,095,429	1,173,364	△ 77,935
役員報酬	4,361,500	4,457,500	△ 96,000
修繕費	62,792	38,070	24,722
燃料費	40,000	63,000	△ 23,000
保険料	163,050	170,430	△ 7,380
租税公課	1,200	5,600	△ 4,400
退職給付費用	1,258,601	863,818	394,783
支払手数料	40,346	26,792	13,554
備品購入費	20,927	34,256	△ 13,329
新聞図書費	99,030	85,368	13,662
諸会費	693,746	707,734	△ 13,988
減価償却費	124,321	161,936	△ 37,615
賞与引当金繰入	1,239,003	1,130,527	108,476
経常費用計	150,607,127	155,749,167	△ 5,142,040
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,020,418	5,243,596	△ 8,264,014
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,020,418	5,243,596	△ 8,264,014

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,020,418	5,243,596	△ 8,264,014
一般正味財産期首残高	13,197,120	7,953,524	5,243,596
一般正味財産期末残高	10,176,702	13,197,120	△ 3,020,418
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用損益	279,434	97,705	181,729
一般正味財産への振替額	△ 279,434	△ 97,705	△ 181,729
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	542,906,000	542,906,000	0
指定正味財産期末残高	542,906,000	542,906,000	0
III 正味財産期末残高	553,082,702	556,103,120	△ 3,020,418

正味財産増減計算書内訳表

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益								
基本財産受取利息	2,244,067		898,428				554,421	3,696,916
特定資産運用益								
退職給付資産運用益								
受取会費								
賛助会員受取会費	2,284,000		2,291,000				2,290,000	6,865,000
事業収入								
広告等収入	80,000							
使用料収入			89,500					
参加料収入			422,713		13,000			
旅行業販売収入				289,440				
物品等販売収入	441,900		1,068,200					
受取補助金								
受取香川県補助金	3,523,594				1,736,237		3,638,142	8,897,973
受取高松市補助金	4,108,471		16,442,498	813,603	1,889,812		21,295,693	85,879,836
受取開催支援事業補助金		21,027,000						21,027,000
受取負担金								
受取寄付金								
受託事業収入								
観光施設管理運営事業収入						17,864,055		
雑収入								
雑収入							170,034	17,864,055
経常収益計	12,682,032	21,027,000	21,212,339	1,103,043	3,639,049	17,864,055	27,778,256	147,586,709

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	共通	
(2) 経常費用								
事業費								
給料手当	155,223		327,379			4,215,111	22,499,188	26,714,299
福利厚生費	3,220,537		1,658,704	14,900		799,994	4,080,524	4,880,518
会議費	131,905		257,392					482,602
旅費交通費	80,918		51,196		181,349	121,306		5,015,447
報酬	35,172		10,164					570,646
通信運搬費								132,114
消耗品費						162,395		207,731
印刷製本費	1,465,340		1,156,680	810,000	1,330,400			4,762,420
賃借料	146,962		398,904	300	12,910			559,076
支払負担金	5,458,180		9,872,512	12,000	2,000,000	1,000		17,343,692
支払補助金	150,000	21,027,000	5,090,000					26,267,000
雑費	56,657		16,676		5,880			79,213
広告宣伝費	731,855		659,734		106,550			1,498,139
委託料	171,380		89,775			5,248,148		5,509,303
臨時雇賃金等						6,233,115		6,233,115
仕入費	438,945		674,077	257,789			45,348	1,370,811
人材派遣費								45,348
報償費			1,034,190	7,504				1,034,190
保険料	2,500						25,150	35,154
租税公課						1,034,809		1,034,809
退職給付費用							812,032	812,032
支払手数料	28,910		134,038	550	1,960	2,624	880	168,962
新聞図書費						45,553		45,553
諸会費	380,000							380,000
減価償却費	429,579		1,400,000		162,000			1,991,579
賞与引当金繰入							1,153,880	1,153,880

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	共通	
管理費								
給料手当							15,184,482	15,184,482
福利厚生費							3,535,822	3,535,822
会議費							938,271	938,271
旅費交通費							47,540	47,540
報酬							14,780	14,780
通信運搬費							1,271,762	1,271,762
消耗品費							596,949	596,949
印刷製本費							299,920	299,920
賃借料							10,565,323	10,565,323
支払負担金							111,500	111,500
広告宣伝費							11,000	11,000
委託料							502,200	502,200
光熱水費							1,095,429	1,095,429
役員報酬							4,361,500	4,361,500
修繕費							62,792	62,792
燃料費							40,000	40,000
保険料							163,050	163,050
租税公課							1,200	1,200
退職給付費用							1,258,601	1,258,601
支払手数料							40,346	40,346
備品購入費							20,927	20,927
新聞図書費							99,030	99,030
諸会費							693,746	693,746
減価償却費							124,321	124,321
賞与引当金繰入							1,239,003	1,239,003
経常費用計	13,084,063	21,027,000	22,831,421	1,103,043	3,801,049	17,864,055	28,617,002	150,607,127
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 402,031	0	△ 1,619,082	0	△ 162,000	0	△ 838,746	△ 3,020,418
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 402,031	0	△ 1,619,082	0	△ 162,000	0	△ 838,746	△ 3,020,418

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	共通	
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	△ 402,031	0	△ 1,619,082	0	△ 162,000	0	△ 838,746	△ 3,020,418
一般正味財産期首残高	2,970,420	13,651	5,508,236	3,013,651	823,651	0	305,673	13,197,120
一般正味財産期末残高	2,568,389	13,651	3,889,154	3,013,651	661,651	0	△ 533,073	10,176,702
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用損益	159,993		95,958				23,483	279,434
一般正味財産への振替額	△ 159,993		△ 95,958				△ 23,483	△ 279,434
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	149,594,000	0	149,641,000	0	0	0	243,671,000	542,906,000
指定正味財産期末残高	149,594,000	0	149,641,000	0	0	0	243,671,000	542,906,000
III 正味財産期末残高	152,162,389	13,651	153,530,154	3,013,651	661,651	0	243,137,927	553,082,702

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的債券については、償却原価法（定額法）により評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法により評価している。

(3) 引当金の経常基準について

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生しているとみとめられる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異は、平成23年度より10年で費用処理することとしている。

・賞与引当金

職員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき当決算期に見合う額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の処理について

税込方法によっている。

(5) 固定資産の減価償却の方法について

・有形固定資産

利用可能期間に基づく定額法によっている。

・無形固定資産（ソフトウェア）

利用可能期間（5年）に基づく定額法によっている。

(6) 外貨建資産負債の換算方法

外貨建資産等の区分		外国通貨の種類	換算方法
外貨建有価証券	満期保有目的債券	米ドル	発生時換算法
外 貨 預 金	短期外貨預金	米ドル	期末時換算法
	長期外貨預金	米ドル	発生時換算法

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	11		11
投資有価証券	499,721,217	198,510,866	200,177,859	498,054,224
定期預金	44,450,000	1,290,416		45,740,416
小 計	544,171,217	199,801,293	200,177,859	543,794,651
特定資産				
退職給付引当資産	27,320,102	2,070,633		29,390,735
供託金	3,000,000			3,000,000
資産取得資金	4,800,000		4,800,000	0
小 計	35,120,102	2,070,633	4,800,000	32,390,735
合 計	579,291,319	201,871,926	204,977,859	576,185,386

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	11	(0)	(11)	—
投資有価証券	498,054,224	(498,000,665)	(53,559)	—
定期預金	45,740,416	(44,905,335)	(835,081)	—
小 計	543,794,651	(542,906,000)	(888,651)	—
特定資産				
退職給付引当資産	29,390,735	—	—	(29,390,735)
供託金	3,000,000	—	(3,000,000)	—
小 計	32,390,735	—	(3,000,000)	(29,390,735)
合 計	576,185,386	(542,906,000)	(3,888,651)	(29,390,735)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（事務所間仕切）	652,968	160,383	492,585
建物附属設備（電気設備等）	165,672	51,542	114,130
建物附属設備（事務所簡易間仕切）	318,600	318,599	1
器具備品（電話機一式）	997,500	997,490	10
器具備品（事務所ブラインド）	143,856	43,158	100,698
器具備品（全国大会等情報ＤＢ一式）	1,229,896	1,004,414	225,482
器具備品（開催情報及び住所録ＤＢ一式）	918,000	382,500	535,500
器具備品（手ぶら観光カウンター）	980,640	212,471	768,169
器具備品（サンポくん着ぐるみ）	810,000	162,000	648,000
器具備品（高松盆栽ＰＲビデオ）	4,800,000	1,400,000	3,400,000
器具備品（事務局ＬＡＮ配線等設備一式）	234,238	3,943	230,295
電話加入権	145,600	0	145,600
保証金（ＥＴＣＰＣデポジット）	60,000	0	60,000
合 計	11,456,970	4,736,500	6,720,470

5 満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債			
第328回利付国債（10年）	50,008,960	51,100,000	1,091,040
米国財務省中期証券	99,719,978	110,043,431	10,323,453
地方債			
平成25年第7回北海道公募公債	49,952,501	51,340,000	1,387,499
第31回1号宮城県公募公債	50,091,574	51,345,000	1,253,426
第406回大阪府公募公債	49,925,640	50,140,000	214,360
第392回大阪府公募公債	49,932,286	50,779,000	846,714
第432回大阪府公債	49,887,757	50,385,000	497,243
政府保証債			
（株）国際協力銀行政府保証外債	98,535,528	105,208,790	6,673,262
合 計	498,054,224	520,341,221	22,286,997

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
出捐金						
高松市出捐金	高松市	300,000,000			300,000,000	指定正味財産
香川県出捐金	香川県	150,000,000			150,000,000	指定正味財産
寄付金						
民間団体寄付金	高松タクシー協会	1,000,000			1,000,000	指定正味財産
補助金						
基本財産積立金	高松市	91,906,000			91,906,000	指定正味財産
運営事業補助金	高松市	0	85,879,836	85,879,836	0	流動資産
全国大会等開催補助事業補助金	高松市	0	21,027,000	21,027,000	0	流動資産
香川県サポート高松にぎわい創出事業補助金	香川県	0	8,897,973	8,897,973	0	流動資産
合 計		542,906,000	115,804,809	115,804,809	542,906,000	

7 固定負債の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
固定負債				
退職給付引当金	27,320,102	2,070,633		29,390,735
合 計	27,320,102	2,070,633	0	29,390,735

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	279,434
合 計	279,434

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の記載事項に同じ。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
流動負債					
賞与引当金	1,422,178	2,392,883	1,422,178		2,392,883
固定負債					
退職給付引当金	27,320,102	2,070,633			29,390,735
合 計	28,742,280	4,463,516	1,422,178	0	31,783,618

4 財 産 目 録

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科目等	使用目的等	金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	運転資金として	0
普通預金 百十四銀行高松市役所支店(898)	運転資金として	1,384,546
普通預金 百十四銀行高松市役所支店(116)		14,825,142
普通預金 香川銀行本店		917,797
普通預金 四国労働金庫本店営業部		663,511
普通預金 高松信用金庫本店営業部		2,352
普通預金 香川県信用組合本店営業部		2,248
普通預金 香川県農業協同組合本店		3,002
普通預金 みずほ銀行高松支店		740,651
未収金 香川県ほか	未収補助金ほか	4,510,225
棚卸資産 観光名刺(台紙)	高松市の観光地の宣伝のため販売している	285,660
棚卸資産 コングレスバック		1,674,804
流動資産合計		25,009,938
2 固定資産		
(1) 基本財産		
普通預金 みずほ銀行高松支店(USD)	公益目的保有財産であり、運用益を	11
定期預金 みずほ銀行高松支店(USD)	公益目的事業の財源として使用している	289,081
定期預金 百十四銀行高松市役所支店		10,000,000
定期預金 香川銀行本店		10,000,000
定期預金 高松信用金庫本店営業部		10,000,000
定期預金 香川県信用組合本店営業部		10,000,000
定期預金 四国労働金庫本店営業部		5,451,335
投資有価証券 第328回利付国債(10年)		50,008,960
投資有価証券 平成25年第7回北海道公募公債		49,952,501
投資有価証券 第31回1号宮城県公募公債		50,091,574
投資有価証券 第406回大阪府公募公債		49,925,640
投資有価証券 米国財務省中期証券		99,719,978
投資有価証券 (株)国際協力銀行政府保証外債		98,535,528
投資有価証券 第392回大阪府公募公債		49,932,286
投資有価証券 第432回大阪府公債		49,887,757
基本財産合計		543,794,651
(2) 特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金 大和ネクスト銀行ビジャモン支店	退職金の支払いに備えた引当資産	10,000,000
定期預金 香川県農業協同組合本店		10,000,000
定期預金 みずほ銀行高松支店		9,390,735
供託金		
第三種旅行業 高松法務局	旅行業法に基づく営業保証金	3,000,000
特定資産合計		32,390,735
(3) その他固定資産		
建物 事務所間仕切(軽量鉄骨壁)	公益目的保有財産であり、公益目的事業、	492,585
建物附属設備 電気設備等	法人管理業務で使用している	114,130
建物附属設備 事務所簡易間仕切		1
器具備品 電話主装置、電話機9台等一式		10
器具備品 事務所遮光用ブラインド(金属製)		100,698
器具備品 全国大会等情報データベース一式		225,482
器具備品 開催情報及び住所録データベース		535,500
器具備品 手ぶら観光受付カウンター		768,169
器具備品 サンボくん着ぐるみ		648,000
器具備品 高松盆栽PRビデオ		3,400,000
器具備品 事務局LAN配線等設備一式		230,295
電話加入権 事務所 2回線		145,600
保証金 ETCパーソナルカードデポジット		60,000
その他固定資産合計		6,720,470
固定資産合計		582,905,856
資産合計		607,915,794

(単位：円)

科目等		使用目的等	金額
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	高松市ほか	高松市補助金返納分ほか	21,471,962
未払費用	N T T 西日本ほか	販売目的以外の継続する役務の提供等の未払分	182,432
前受会費	賛助会員	令和2年度分会費	10,000
預り金	社会保険料本人負担分ほか		753,271
賞与引当金	令和元年度分	規程に基づく職員賞与の当期負担分	2,392,883
未払消費税	観光案内所運営受託事業	受託事業収益に含まれる消費税等	631,809
流動負債合計			25,442,357
2 固定負債			
退職給付引当金		退職金の支払いに備えた引当金	29,390,735
固定負債合計			29,390,735
負債合計			54,833,092
正味財産			553,082,702

監 査 報 告 書

令和2年5月14日

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー
理事長 佐 野 正 殿

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー

監 事 勝 丸 千 晶 ㊟

監 事 山 田 徑 男 ㊟

私たちは、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度における会計及び業務の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類及び収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 事業報告については、理事会及びその他の会議に出席し、担当理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書それらの附属明細書及び財産目録、並びに収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、当法人の財務状況並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書及び附属明細書の内容は真実であり、法令若しくは定款の規定に違反するが如き事実はないことを認めます。